

2019年5月24日

SASBの「インベスター・アドバイザリー・グループ」のメンバーに

選任されたことについて

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：西 啓介、以下「当社」）は、サステナビリティ会計基準審議会（以下、「SASB^{※1}」）のインベスター・アドバイザリー・グループ（以下、「IAG」）のメンバーに選任されました。

SASBは、ESG情報の開示の重要性が高まる中、2018年11月、11業種77産業別サステナビリティ会計基準（SASBスタンダード^{※2}）を正式に公表しました。この基準は、財務的なパフォーマンスに与える影響の観点から産業や業種別に異なるESG情報の重要性（マテリアリティ）を特定した、投資家を意識した非財務情報開示基準です。ESG情報を開示する企業側にとっても、投資家が何を重要視しているかを把握することができるため、開示情報を特定する際に参考になると考えられています。

この度、当社がメンバーとして選任されましたIAGは、SASBスタンダードに機関投資家の視点を取り入れるための仕組みとして、2016年後半にSASBによって創設されました。メンバーは、世界有数の年金基金、運用会社から構成され、その運用総資産は、33兆ドル超に及びます（参加メンバー：44企業・団体、2019年5月22日時点）。

当社は、2008年に国内株式へのESGレーティングの付与を開始し、企業評価のプロセスに組み込む等、ESG運用に注力してきました。以降、国連責任投資原則（PRI）の年次評価における最高評価「A+」を4年連続で獲得する等、当分野をリードしてまいりました。

この度、日本の会社として初めて、IAGメンバーに選任されたことは、長年にわたり蓄積してきた経験や、独自の視点が評価されたものと考えます。これまでの経験を活かし、責任ある投資家としてESG情報の開示を促すSASBの取組みをサポートしていきたいと考えています。

引き続き、ご愛顧を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

※1 SASB：サステナビリティ会計基準審議会（SASB）財団は、独立した非営利の基準設定機関。同財団は、投資家にとって財務的に重要なサステナビリティ情報を特定し、頑健なレポートング基準を提供することを目指す。

※2 SASBスタンダード：この基準を用いることで、世界中の企業がマテリアリティを識別したり、投資家とコミュニケーションをとることが可能となる。SASBスタンダードは、幅広い市場関係者の参加により開発されている。

以上